

はじめにお読みください

HyBRIDGE

鋼橋設計システム(LRFD 版)

Ver5.00/4.11 対応

#1 部分係数法(LRFD)対応版インストールガイド

Ver5.xx Inet 認証版

Ver4.xx HASP 認証版

2025.04

目次

□部分係数法対応版をリリースします	2
□用意するもの.....	2
□プログラムのインストールの前に.....	3
○インターネット認証(Inet 認証)の場合	3
端末設定ツールの設定	4
マルチユーザライセンスの場合.....	4
シングルユーザライセンスの場合	5
○プロテクト認証(HASP)の場合	6
□インストール手順.....	7
(サーバ機にインストール済の場合のみ)	10
(サーバ機にインストールした場合のみ)	12
□インストール終了後.....	13
○あとからライセンス認証方法を変更するには.....	14

□部分係数法対応版をリリースします

・道路橋示方書(H29.11)に対応しました。今回の改定により長く使われてきた許容応力度設計法(ASD)から、限界状態を考慮した部分係数法(LRFD)へと移行します。

H30.01 発注工事から原則として部分係数法(LRFD)を適用することになっていますが、継続工事を含めると移行にはある程度の期間が掛かることが予想されます。

従来の許容応力度法(ASD)は Ver3.xx 系とし、新しくリリースする Ver4.xx 系列を部分係数法(LRFD)として平行して提供します。区別のため Ver4.xx 系は赤いアイコンに変更しました。

- ・両者は別プログラムですが、同一 PC に同時にインストールのうえ使用できます。
- ・データの大部分は互いに読み書きできますが、設計法の違いから完全に共通化はできません。片方のみに存在するデータは不足する部分もあります。設計法の移行期間を想定したものとお考えください。

インストール時にライセンスの種類によりインストール・起動するバージョンが変わります。
インストーラは共通です。HASP 版から Inet 認証への移行には申込みが必要です。

部分係数法(LRFD)

- ・ Ver5.xx Inet 認証版 (あらかじめ「端末設定ツール」で設定してください)
- ・ Ver4.xx HASP キー認証版 (今後インターネット認証版への移行に伴い廃止予定)

許容応力度法(ASD)

- ・ Ver3.xx 許容応力度対応版(インターネット認証、HASP 認証版ともバージョン番号は共通)

LRFD と ASD は
同一 PC に共存できます

インターネット認証

https://www.jip-ts.co.jp/support/protect_internet/

□用意するもの

※あらかじめ Inet 認証(または HASP キー)の設定が必要です

インストーラとサブライセンスファイルを用意します。

- ・ hybridge_lrfd500.exe (数字部分はバージョン番号)
- ・ llicense.hyb, license.txt (HyBRIDGE Ver5.xx, Ver4.xx 用)
- ・ spacer.lic, spacer.txt (JIP-SPACER 4.xx 用)

- ・ HyBRIDGE と JIP-SPACER のサブライセンスは紛失しないよう保管しておくで安心です。
- ・ Explore で以下の名前のフォルダを作りそこにコピーしておくでインストーラが自動で認識します。

c:\¥ sublicense¥hy sp¥

専用 DVD-ROM 提供の場合は DVD 内のフォルダにあらかじめ同梱しています。

□プログラムのインストールの前に

ライセンス認証方法が変わりました (2025.04)

- 「インターネット認証(Inet 認証)」はインターネットを介してソフトウェアの認証を行う新しいライセンス管理方法です。
- マルチユーザライセンスの場合、同じ事業所内の複数の PC から使用できます。
- この方式ではインターネット認証ライセンスサーバ(SCP)でライセンス管理を行います。「プロテクトキー認証(HASP)」であったプロテクトキーの紛失や破損の心配がなく物理的な管理が不要です。
- 移行費用は無償ですが、**お申し込みが必要**です。

HyBRIDGE,JIP-SPACER,JIP-LINER は詳細設計です。

詳細設計では物件の途中での「プロテクト認証(HASP)」から「インターネット認証(Inet 認証)」への急な移行は難しい場合があります。暫定処置としてしばらくのあいだは両対応で動かします。一年後を目処に完全に移行する予定です。

しばらくは従来の「プロテクト認証(HASP)」のままでも使用できます。

○インターネット認証(Inet 認証)の場合

プログラムをインストール前の準備としてインターネット認証の端末設定を行います。

インターネット認証のユーティリティと説明書は以下からダウンロードできます。

プロテクト【インターネット認証】

https://www.jip-ts.co.jp/support/protect_top.html

※「ライセンスサーバ」と「プログラムをインストールするサーバ機」は同一である必要はありません。(同一でも構いません)



サーバ設定ツール

[サーバ管理者]のみ

- ・マルチユーザライセンスのライセンスサーバの設定を行います。(シングルユーザライセンスの場合は不要)
- ・プログラムを実行する PC では設定不要
- ・設定するパラメータは購入時(移行時)の資料を参照してください。

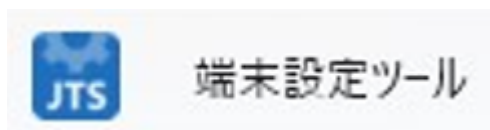


端末設定ツール

[全員]

- ・プログラムを実行する PC では設定必須
(マルチユーザライセンス、シングルユーザライセンスとも)
- ・設定するライセンスサーバの名前は貴社の[サーバ管理者]様にご確認ください。

端末設定ツールの設定



端末設定ツール 【ライセンスタイプ】

☒ マルチユーザライセンス運用

☐ シングルユーザライセンス運用

マルチユーザライセンスの場合

端末設定ツール 【ライセンスサーバのアドレス指定】

メインライセンスサーバ(必須):

☐ サブライセンスサーバを指定する(任意、下記表に指定する)

LAN にある「ライセンスサーバ」の名前

「サブライセンス」とは関係ありません

- ・「サブライセンス」サーバではなくサブ「ライセンスサーバ」です
- ・メインのライセンスサーバ以外のライセンスサーバを追加して使う場合に使います
- ・必要なければオフのままにしてください。

(この表記は「端末設定ツール」の更新により改善予定)

【ライセンスサーバのアドレス指定】

マルチユーザライセンス運用の場合のみ指定します。
社内のライセンスサーバのIPアドレスまたはホスト名を指定して下さい。
ex. 192.168.1.1
ex. lmsrv

サブライセンスサーバを指定する場合は、IPアドレスまたはホスト名と
そのサブライセンスサーバを使用する製品名を両方指定して下さい。
製品名は重複させないで下さい。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

シングルユーザライセンスの場合

端末設定ツール 【カスタマーIDと製品名の指定】

	カスタマーID(Customer ID)	製品名(Feature Name)
1	0111111W	JIP-LINER
2	0111112W	JIP-SPACER_net
3	0111113W	HyBRIDGE
4	0111114W	DRAFT-B
5	0111115W	DRAFT-I
6		
7		

【カスタマーIDと製品名の指定】

JTSよりお送りしたカスタマーIDと製品名を指定して下さい。

必ず1行にカスタマーIDと製品名を両方指定して下さい。
カスタマーIDと製品名はそれぞれ重複させないで下さい。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

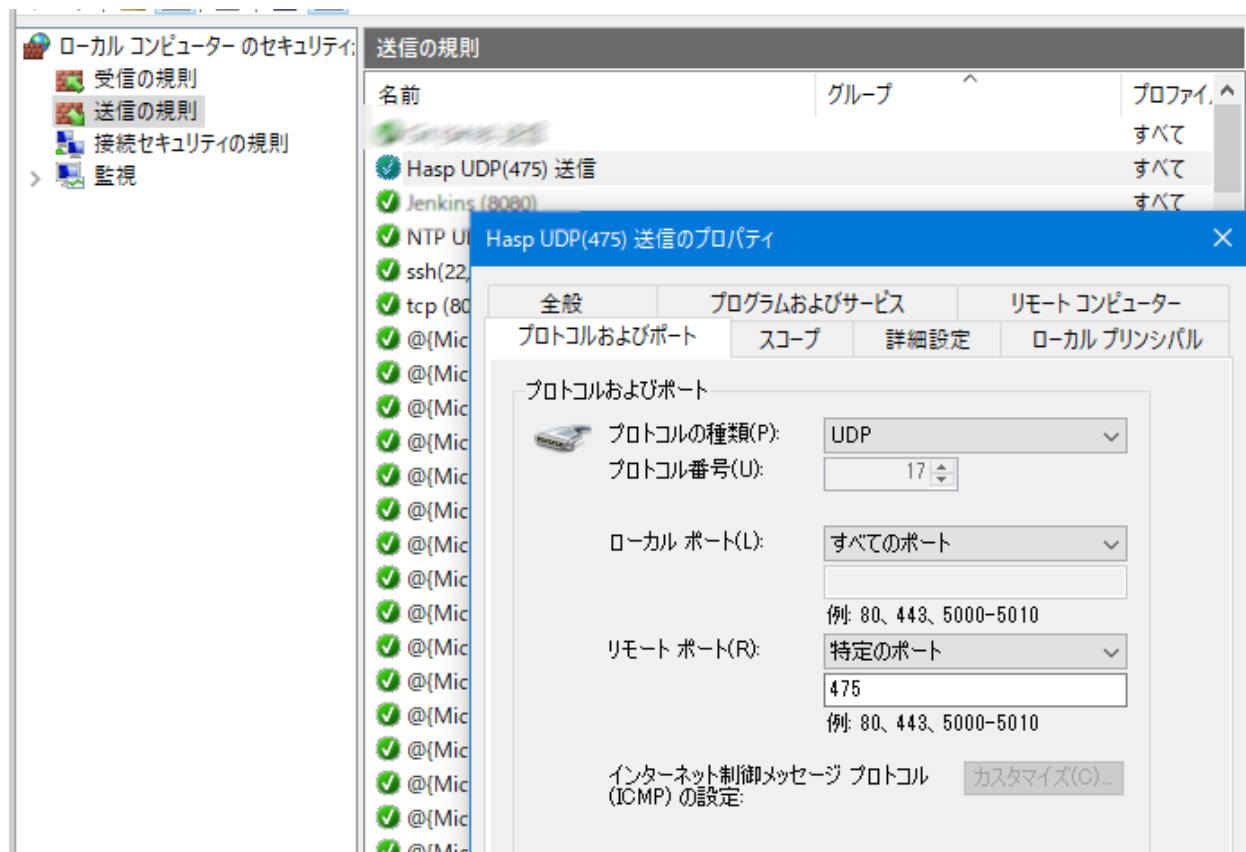
設定するパラメータは購入時(移行時)の資料を参照してください

○プロテクト認証(HASP)の場合

「受信の規則」「送信の規則」とともに UDP 475 を許可してください。

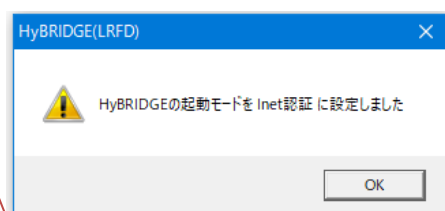
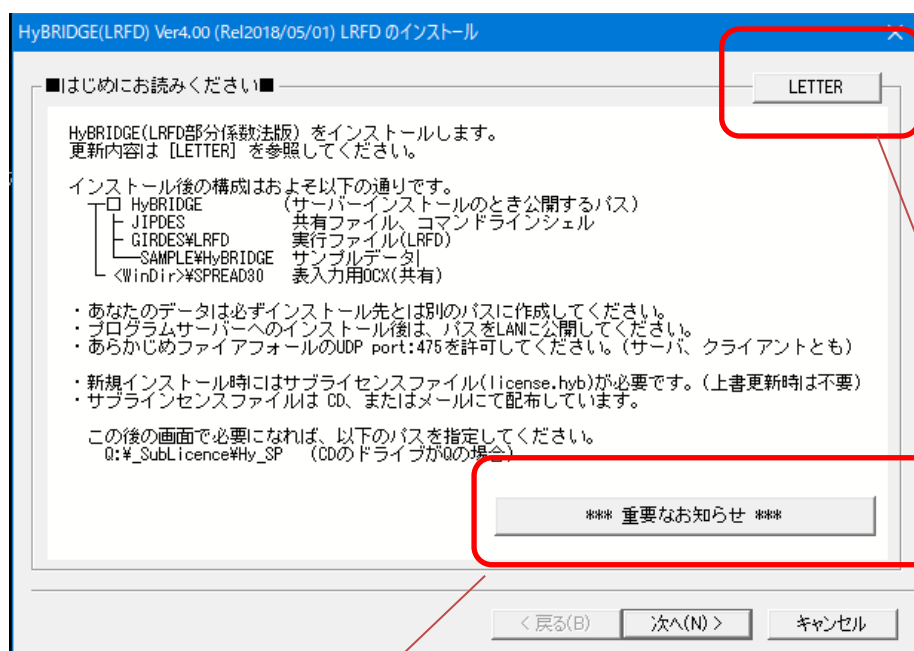
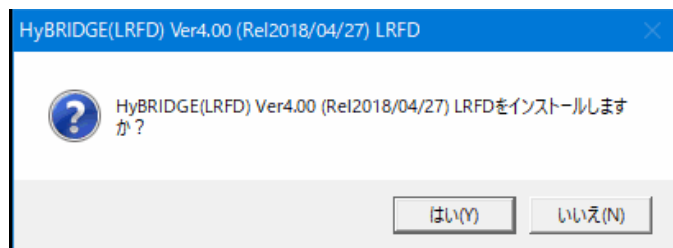
以下は Windows に付属のファイアウォールの例です。お使いのファイアウォールの説明を参考に設定してください。

インターネット認証(InetSCP)の場合は UDP475 の設定は不要です。



インストール手順

インストーラを起動します。



重要なお知らせ

バージョンアップの手続が必要です

2018年4月01日

- 道路橋示方書改訂(H29.11)に伴うVer4.00へのメジャーバージョンアップのため、バージョンアップ対応の手続きが必要です。
- HASPキーのバージョン情報の書き換えとサブライセンスの更新が必要です。バージョンアップの手続を行わない場合、プログラムの更新と実行ができません。
- 部分係数法(LRFD)対応版をVer4.XXとし、許容応力度法(ASD)版をVer3.XXとします。両者は別プログラムですが、同じPCに同時にインストールして使用できます。
- 移行期間は短くないと予想されるため、Ver4.00リリース後も当面のあいだはVer3.XX系のプログラムも平行して提供します。
- 新規にVer4.XX系を導入された場合、Ver3.XX系は実行できません。追加のご購入が必要です。

HyBRIDGE/設計 更新履歴

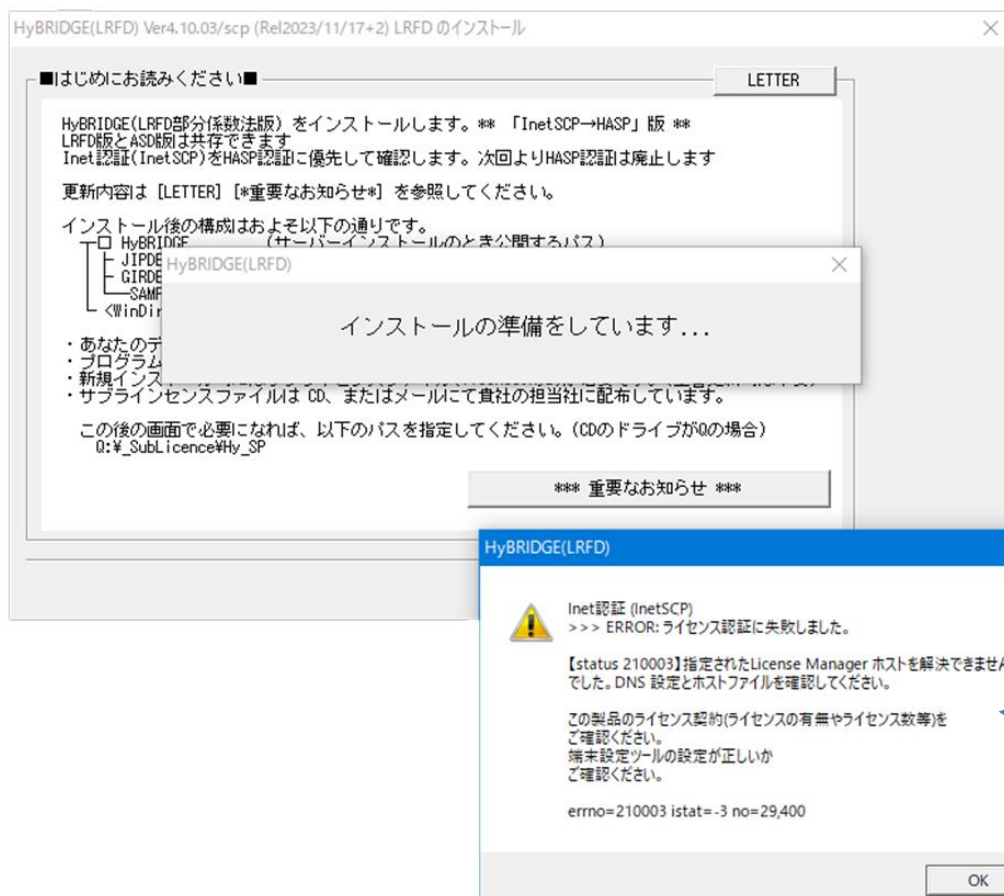
■ Ver4.00 (REL2018/04/27) LRFD

□ 部分係数法対応版をリリースします

- 道路橋示方書(H29.11)に対応しました。今回の改定により長く使われてきた許容応力度設計法(ASD)から、限界状態を考慮した部分係数法(LRFD)へと移行します。H30.01発注工事から原則として部分係数法(LRFD)を適用することになっていますが、継続工事を含めると移行にはある程度の期間が掛かることが予想されます。従来の許容応力度法(ASD)はVer3.xx系とし、新しくリリースするVer4.xx系を部分係数法(LRFD)として平行して提供します。区別のためVer4.XX系は赤いアイコンに変更しました。
 - 両者は別プログラムですが、同一PCに同時にインストールのうえ使用できます。
 - データの大部分は互いに読み書きできますが、設計法の違いから完全な共通化はできません。片方のみに存在するデータは不足する部分もあります。設計法の移行期間を想定したものとご考えください。
 - ライセンスは別なのでVer4.XXの実行のためにはバージョンアップのための手続きが必要です。
 - Ver4.xxだけを新規導入した場合はVer3.xx系は使用できないのでVer3.XX系も購入する必要があります。
 - これまでない大変更のため一度にはリリースできないため、複数回に分割してリリースします。今回のリリースは主桁、継手、横桁、対縁横、横橋を中心とします。
- HyBRIDGE (鋼橋設計システム)
PLAN (デッキ計画)
ISECT (非合成、合成 1 桁の断面計算)

[次へ] を押すとライセンスが確認して設定を行います。

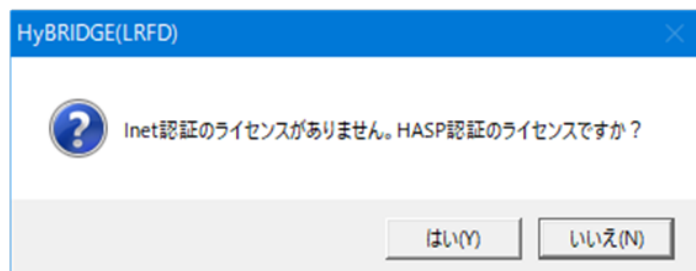
Inet 認証と HASP 認証のどちらを使うかはプログラム毎に個別に決められます。(DRAFT を除く)



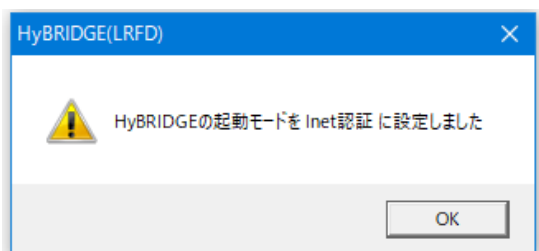
Inet 認証のライセンスが確認できない場合は HASP 認証のライセンスであるか訊かれます。

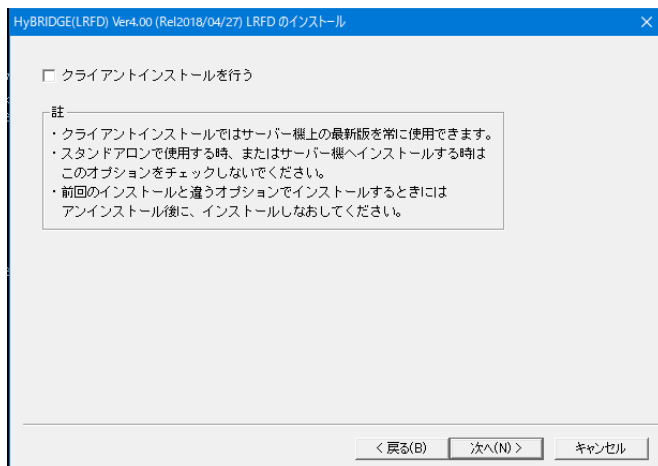
Inet 認証のライセンスをつかうのであれば「いいえ」を選択して終了します。まえの手順に戻り、端末の設定を見直してください。

HASP 認証を使う場合は「はい」を押して続けます。



ライセンスが確認できれば確認のダイアログが出ます。

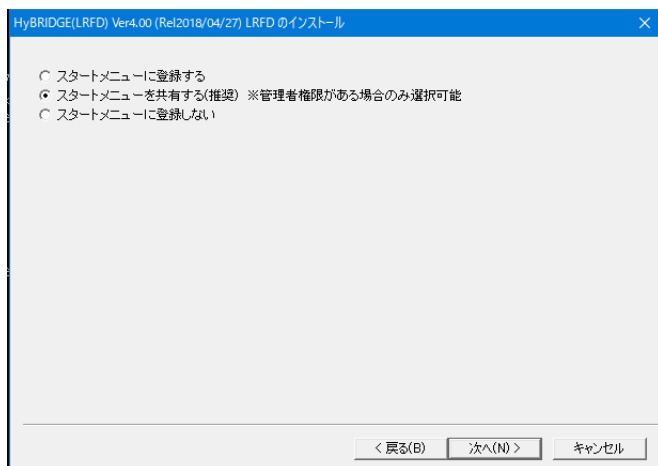




自分の PC にインストールして自分で使う場合、および LAN 内にあるサーバ機にインストールする場合はクライアントインストールのチェックはオフのままにします。

サーバ機にインストール済の場合のみオンにします。通常はオフです。

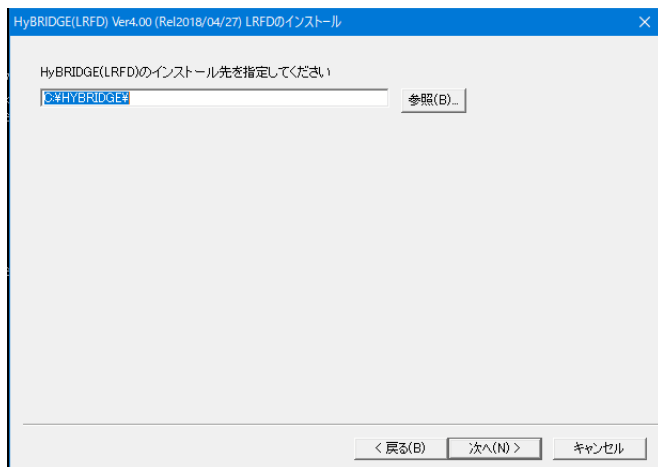
クライアントインストールがオフの場合



インストール先は変更せずデフォルトのままにします。

インストール先を変更すると LINER, SPACER 等と連携できなくなります。

許容応力度法(ASD)版である Ver3.xx がインストールしてある場合もそのまま共存できます。

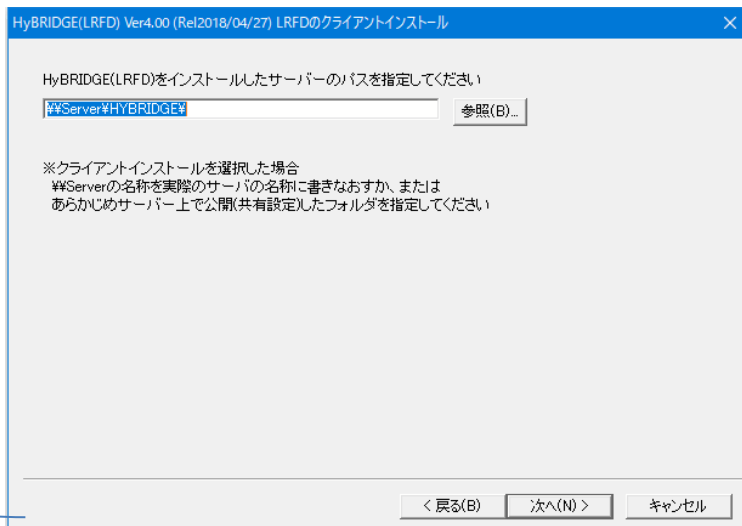


(サーバ機にインストール済の場合のみ)

- ・ クライアントインストールをオンにするとサーバのパスを訊かれます。
- ・ サーバ機にインストール済の場合、つまり 2 台目以降にインストールする場合のみ公開済のサーバ機の共有フォルダを指定します。

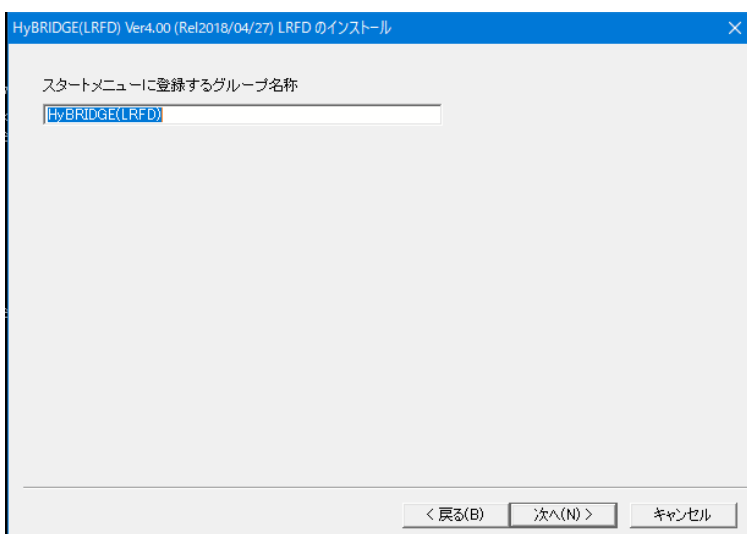
→ 「~~※~~サーバの名称~~※~~HyBRIDGE~~※~~」

※インターネット認証(Inet 認証)や HASP 認証の「ライセンスサーバ」と「プログラムをインストールするサーバ機」は同一である必要はありません。(同一でも構いません)

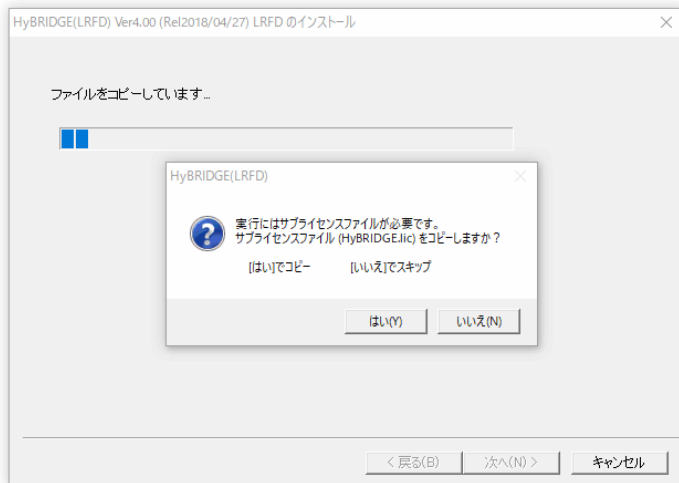


※「ライセンスサーバ」と「プログラムをインストールするサーバ機」は同一である必要はありません。(同一でも構いません)

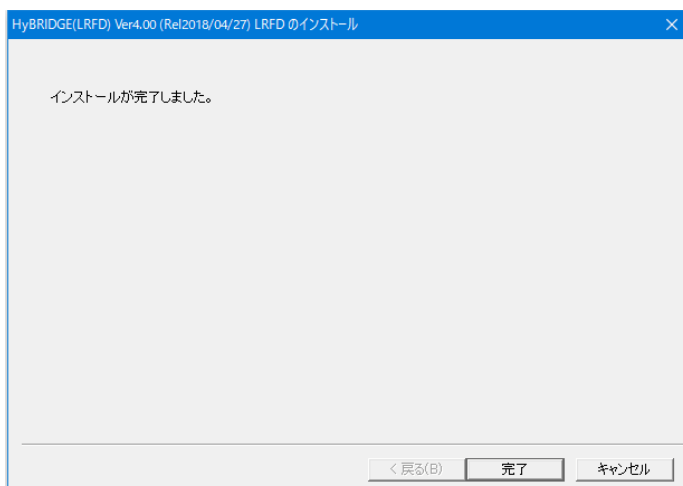
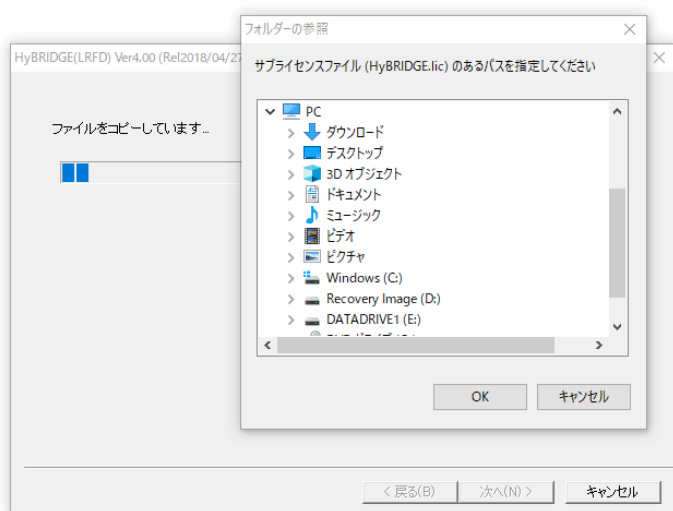
グループ名はデフォルトのままにします。



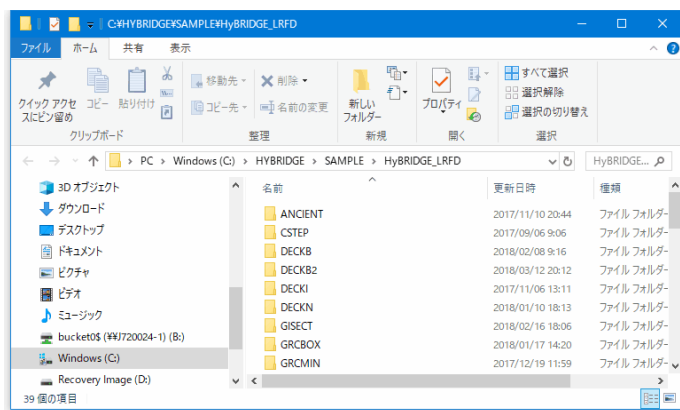
サブライセンスを訊かれたら用意したサブライセンスファイルの場所を指定します。



※上書きインストールのときは既存のファイルでよいので、[いいえ]でスキップして構いません。

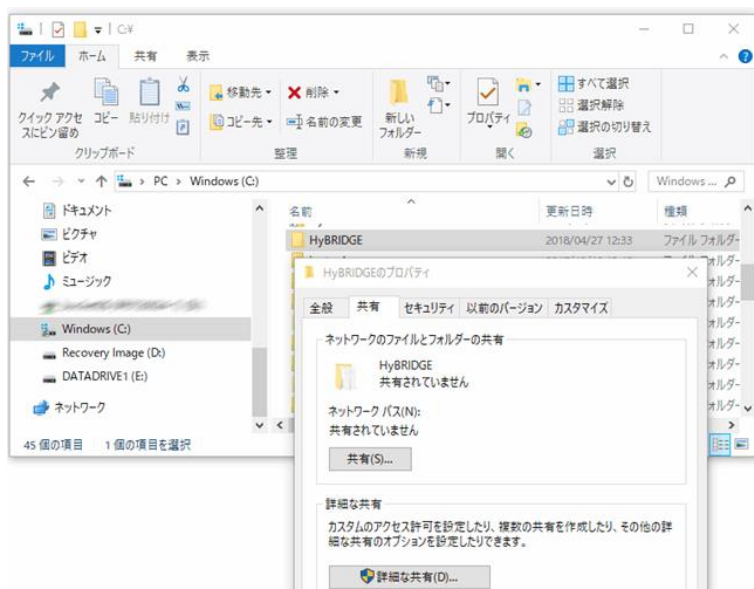


インストールが終了するとサンプルデータのフォルダが開きます。



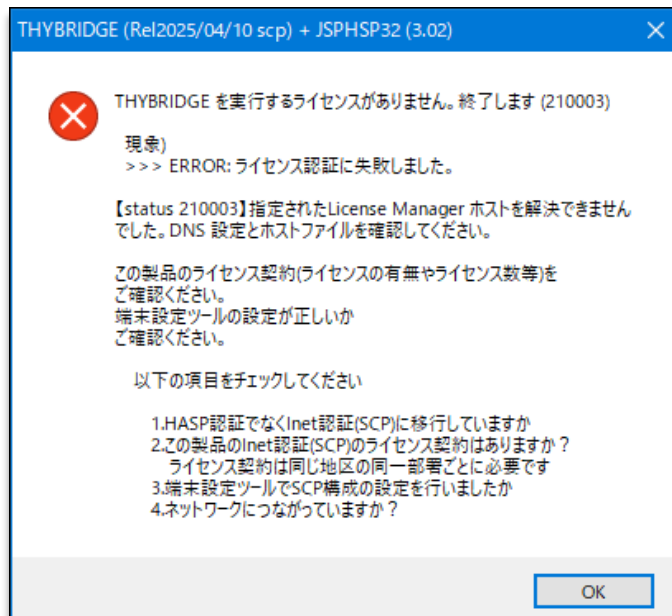
(サーバ機にインストールした場合のみ)

- ・ インストールしたあと Windows の機能を使って社内 LAN 向けにフォルダ(C:\¥HyBRIDGE)を共有するよう設定しておきます。
- ・ 書き込み権限は不要です。読み込み権限を必要な範囲で設定してください。
- ・ 今後は、サーバ機のみバージョンアップすることで、社内のクライアント PC すべてのバージョンを同一に管理できます。
- ・ クライアントインストールするかたにサーバの名前を連絡してください。
→ 「¥¥サーバの名称¥HyBRIDGE¥」

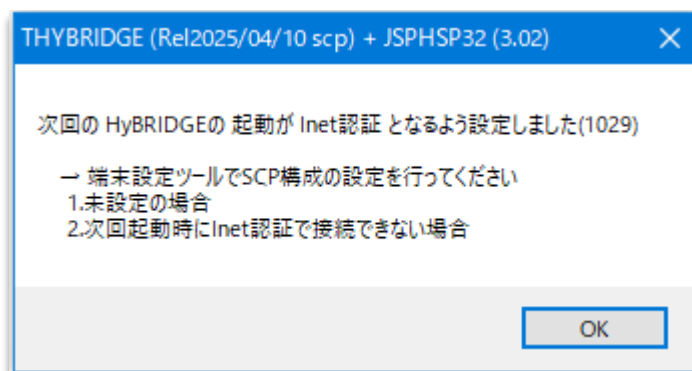
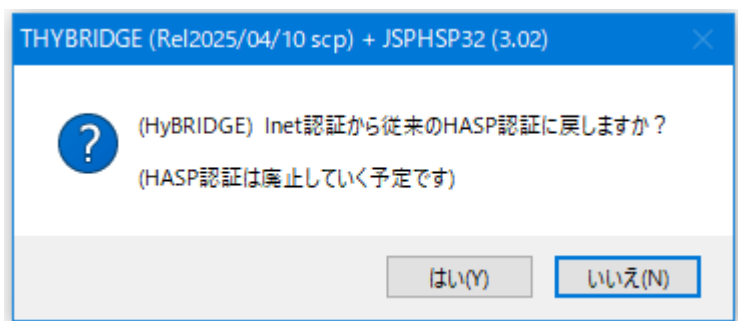


□インストール終了後

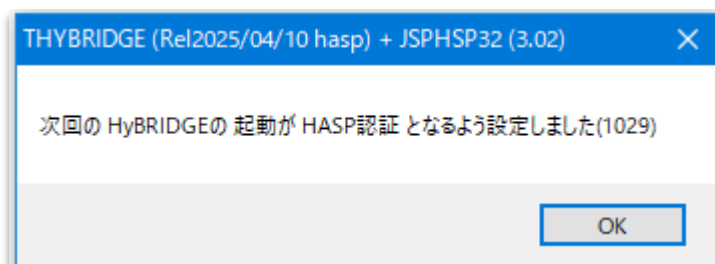
プログラムが起動することを確認してください。
起動しない場合はエラーの内容を参照してください。



このエラーメッセージは「端末設定ツール」が未設定のときに表示されます。
[いいえ]を押して終了し「端末設定ツール」の設定を見直してください。



HASP からの移行がまだのときのみ、[はい]を押して HASP に戻してください。
自分がどちらのライセンス形式であるかをご確認をお願いします。



○あとからライセンス認証方法を変更するには

スタートメニューの[HyBRIDGE(LRFD)]からライセンス変更を起動します。

[はい]を押すと変更できます。[いいえ]は変更せずに終了します。

プログラム起動時にライセンス認証に失敗した場合にも同様のダイアログの表示になります。

「プロテクト認証(HASP)」から「インターネット認証(Inet 認証)」への移行期間の暫定処置です。
しばらくのあいだは両対応で動かすことができます。最大で一年後を目処に完全に移行する予定です。
※移行費用は無料ですが、申込みが必要です。当社営業担当にご連絡をお願いします。

